

JTA TENNIS RULE BOOK 2019

昨年より変更、追加されたルール(抜粋)

試合に参加される皆様、大会を運営される皆様へ試合で直面する主な改正点をお知らせします。

RULE BOOK Page	2019改正・追加
56	<p style="text-align: center;">「試合で起こるQ&A」</p> <p>Q14) インプレー中、コート上にあるボールを蹴飛ばした場合</p> <p>第2サービスからのインプレー中、第1サービスのフォールのボールを誤って蹴飛ばした場合、 チェアアンパイア (チェアアンパイアがつかない試合では相手プレーヤー) 妨害と判断した場合、「レット」をコールすることができる。</p>
対応	<p>第1サービスからポイントをやり直す プレーに障害となるコート上のボールの除去に努めるように指導する。</p>
61	<p style="text-align: center;">「5. チェアアンパイアがつかない試合方法」</p> <p>1. セルフジャッジの方法</p> <p>4) ダブルスの判定とコールは、1人のプレーヤーが行えば成立する。 しかし、ペア両選手の判定が食い違った場合はそのペアの失点となる。 ペアの判定が食い違ったとしても「フォールト」「アウト」をコールしたプレーヤーが直ちに「グッド」に訂正した場合は、 1回目に関り故意ではない妨害としてポイントレットとなる。</p> <p>ただし、ネット、ストラップまたはバンドに触れたサービスを、 1人が「フォールト」、パートナーは「レット(グッド)」とコールした場合は 「(サービスの)レットとなる」。</p>
対応	<p>・失点 ・1回目に関りポイントレット ・サービスのレット 上記事例について、違いを理解して対応する</p>
139	<p style="text-align: center;">「JTA公式トーナメント競技関連規則」</p> <p>24. ヒートルール</p> <p>JTAランキング対象大会のJ1以上で、男女シングルス・ダブルスのうち、 試合フォーマットが3タイブレークセット、またはファイナルセットが アドバンテージセットで行われる種目に限り、ヒートルールを採用することができる</p> <p>会場で気温が摂氏35度以上になった場合、または環境省熱中症予防サイトで大会開催地のWBGTが31℃になった場合は、最終セットの前に、 10分間のコート外での休憩(セットブレークの120秒を含む)が認められる。</p> <p>「雷」項目追加</p>
対応	<p>10分間の休憩で、トイレ、着替えはできるが、コーチングを受けることはできない 詳細は2019ルールブックP139～140</p>

143	26. トイレ休憩と着替え											
144	<p>トイレ休憩の回数は次の通りとする。 ダブルスのペア2人が同時に行った場合は、1回とみなされる(男女共通)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2">試合のフォーマット</th> <th colspan="2">男子女子共通</th> </tr> <tr> <th>シングルス</th> <th>ダブルス</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>3セットマッチ *</td> <td>1試合1回</td> <td>1試合ペアで2回</td> </tr> <tr> <td>5セットマッチ *</td> <td>1試合2回</td> <td>1試合ペアで2回</td> </tr> </tbody> </table> <p>* ショートセット方式、マッチタイブレーク方式ともに、同じ基準とする。</p> <p>着替えはセットブレーク時、女子のみコートを離れることが許されるが男子は着替えのためにコートを離れることはできない。 トイレ休憩の時間は男女とも理にかなった時間内とする。</p> <p>トイレ休憩は男女ともにセットブレーク時に取ることができる。 ただし、状態が深刻であるとアンパイアが判断した時は、当該選手のサービスゲームの前に緊急処置として認める。</p>	試合のフォーマット	男子女子共通		シングルス	ダブルス	3セットマッチ *	1試合1回	1試合ペアで2回	5セットマッチ *	1試合2回	1試合ペアで2回
試合のフォーマット	男子女子共通											
	シングルス	ダブルス										
3セットマッチ *	1試合1回	1試合ペアで2回										
5セットマッチ *	1試合2回	1試合ペアで2回										

対応 レフェリーに連絡、ロービングアンパイア、ラインアンパイアが同行
トイレ以外の行為(携帯電話使用、コーチと会話、トイレを使用しない)制止
詳細は2019ルールブックP201.6

152	<p>「1. コード オブ コンダクト」 2) 服装と用具のコード 2018年版で、訂正があった表に差し替え</p> <p>ロゴのパッチサイズについて パッチサイズは、パッチがウェアの色と同じかどうかに関わらず、 パッチそのもののサイズが規制の対象となる。</p>
-----	---

対応 詳細は2019ルールブックP151～153
男子と女子のロゴの数・サイズの違い
男子はATP,女子はWTAルールに基づいている。

この他にも、運営上の改正・文章の補足・削除などがあります。
詳しくは2019ルールブックで確認してください(改正された項目には縦線があります)

大会に参加される選手の皆様は、各大会の実施要項が優先されます。
大会会場でインフォメーションを確認して下さい。

2019年度もルール・マナーを守り、フェアプレイ推進のご理解とご協力をお願いします。



公益財団法人

日本テニス協会

JAPAN TENNIS ASSOCIATION

試合におけるフェアプレイの推進

フェアプレイはスポーツの基本です。それは、①ルールを守る、②対戦相手をリスペクトし、③スポーツマンシップにのっとり正々堂々と戦うことを意味します。日本テニス協会は以下の2つのテーマに取り組んでいます。皆様のご理解とご協力をお願いします。

1. セルフジャッジ5原則順守のお願い

コート内では時としてトラブルが起きます。その多くはセルフジャッジの試合におけるイン・アウトの判定や、スコアの食い違いなどに起因するものです。とりわけ、ジャッジコールが対戦相手に聞こえない場合やハンドシグナルが曖昧な場合のトラブルです。試合でのフェアプレイ向上のため、日本テニス協会は、セルフジャッジ5原則の順守を推進し、ジュニア選手、のみならず全てのテニスプレイヤーに対して、セルフジャッジ5原則順守の呼びかけを行っています。ジュニア選手の保護者や指導者の皆様にも、目前の試合の勝ち負けに一喜一憂することなく、スポーツマンシップにのりこったフェアな試合が行なわれるよう、ご支援ください、よろしくお願ひします。

セルフジャッジ5原則

- ① 判定が難しい場合は「グッド」（相手に有利に）！
- ② 「アウト」または「フォールト」はボールとラインの間に、はっきりと空間が見えたとき！
- ③ サーバーはサーブを打つ前、レシーバーに聞こえる声でスコアをアナウンス！
- ④ ジャッジコールは、相手に聞こえる声と、相手に見えるハンドシグナルを使って速やかに！
- ⑤ コートの外の人、セルフジャッジへの口出しはしない！

2. ゲームの始めと終わりに「あくしゅ、あいさつ、フェアプレイ」の心がけのお願い

プレイヤーは、試合の終了時に対戦相手と握手するだけでなく、試合前にも、相手をリスペクトして握手し挨拶することを心がけましょう！ そして試合中は、スポーツマンシップにのっとり、自分のベストを尽くし、フェアプレイに徹しましょう。

